自己評価結果届出書

令和　3　年　3 月　3 日

沖 縄 県 知 事 殿

所在地　宜野湾市長田3丁目5番7－3号

法人名　合同会社One Step Up

代表者 職 氏名　代表 比嘉 智之　印

1 事業所情報

事業所名	放課後等デイサービス彩り-IRODORI-			
事業所番号	4750900369			
事業の種別（多機能型は2つにチェック）	□	児童発達支援	指定年月日	平成 令和　年　月　日
	■	放課後等デイサービス	指定年月日	平成 (令和)　2　年　6 月　1 日
所在地				

2 公表状況

公表日	令和　3 年　3 月　3 日	
公表方法	≪児童発達支援≫	
	□	ホームページ掲載　（URL　）
	□	会報等に掲載し配布　（会報等の名称　）
	□	その他　（具体的な方法　）
	≪放課後等デイサービス≫	
	■	ホームページ掲載　（URL　http//kp-irodori.com
	□	会報等に掲載し配布　（会報等の名称　）
	□	その他　（具体的な方法　）
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者等集計結果を添付すること。	

担当者名	宮城 伸
連絡先電話番号	098－943－4877

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　3年 3月 3日　　事業所名　放課後等デイサービス彩り--IRODORI

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	0		模様替えなどをして、スペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切である	3	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	2	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	2	0		FC本部の動画研修を毎月行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	0		事業所で考案したコミュニケーションスキルトレーニングを工夫しながら実践している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2	0		協力企業と連携して職場体験を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	0	3	0		職員全員が把握できるように促す。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	0	0		急な日程変更や時間変更の場合も、学校から連絡が来るよう密にコミュニケーションをとっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	0		対象児童を受け入れしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	0		主に中高生を受け入れているので、児童発達支援事業所との関りが今のところない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3	0		まだ卒業して移行する児童はいないが、今後の為の繋がりが持てるようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	0		法人で自治会に加入しているので、体育館使用時に他児と関わる機会がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	0		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	3	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	0	2	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	0		家庭連携支援をとして、相談や助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	2		事業所の行事を行い保護者を招待し、保護者同士のつながりを作っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	2	1		
	35	個人情報に十分注意している	3	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	3		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	2	0		虐待防止の研修機会を作る。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　3年 3月 3日

事業所名　放課後等デイサービス彩り-IRODORI-　保護者等数（児童数）　全　17名　回収数　17名　割合　100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	4	0	・見学に行ってないので分からない。 ・少し狭いと言っていた。	・模様替え等をして広い空間つくりを考えていく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	4	0	・あと1、2、名増員してほしい。	・現在募集中であり、決まればすぐに増員していく。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	5	0		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16	1	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	4	0		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	9	3	コロナの影響で開催できていない。	・コロナの状況を見ながら、保護者会を開催できるようにする。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	0	・そのような事実がないので分からない。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	4	0		
	14	個人情報に十分注意しているか	16	1	0		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	4	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	9	0		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1	0	・本人はとても楽しみにしている。	
	18	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	・コロナの影響が治まったら職場体験を増やしてほしい。	・コロナの状況を見ながら、協力企業と連携をして少しでも多くの職場体験を提供していく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。